

# 入札監理小委員会の審議結果報告

## 国家石油備蓄基地操業委託の事業承継について

独立行政法人石油天然ガス・金属鉱物資源機構の国家石油備蓄基地操業委託の事業承継について、入札監理小委員会において審議したので、その結果を以下のとおり報告する。

### 1. 事業の概要及びこれまでの経緯について

- 本事業は、公共サービス改革基本方針（平成 28 年 6 月 28 日閣議決定）別表において新規の事業として選定されたものであり、平成 30 年 1 月から平成 35 年 3 月までの 5 年 3 ヶ月間、民間競争入札により業務を実施することとされている。
- 本事業は石油備蓄法により定められた国家備蓄石油及び国家備蓄施設の管理を行うために必要な国家石油備蓄基地の操業（運転業務、施設管理業務、安全防災・環境保全業務、その他業務）を委託するものである。
- 全国 10 か所の各国家石油備蓄基地において実施する。（①苫小牧東部、②むつ小川原、③久慈、④秋田、⑤福井、⑥菊間、⑦白島、⑧上五島、⑨串木野、⑩志布志（基地ごとの調達を実施するが、③、⑥、⑨のみ「地下備蓄方式」で実施しており、3 基地で一契約））
- 苫小牧東部、秋田、福井、志布志については、「東京電力 FP グループ（代表企業：東京電力フュエル&パワー株式会社、構成企業：東電フュエル株式会社）」が落札し、事業を実施しているところ。
- この度、東京電力フュエル&パワー株式会社の燃料事業等については、同社及び中部電力株式会社から 50%ずつ出資されて設立された株式会社 JERA において実施されることとなり、対応が必要となっている。
- なお、現在の東京電力フュエル&パワー株式会社による国家石油備蓄基地操業委託の実施体制についてはそのまま株式会社 JERA に引き継がれることとなる。

### 2. 対応について

- 現在の事業の実施体制がそのまま子会社である株式会社 JERA に引き継がれ、また、構成企業である東電フュエル株式会社に変更はなく、実質的には契約の相手先の名称が変更となるのみであることから、本契約に係る相手先を株式会社 JERA に変更する。

### 3. 審議結果について

- 委員との間で以下のとおり質疑応答があった。
  - 【質問】事業の実施体制のうち、管理体制についても不安はないか。
  - 【回答】現在の東電 FP 株式会社の職員がそのまま株式会社 JERA に引き継がれるものであり、不安はないと考えている。
  - 【質問】事業承継後の実施体制の確認について、聞き取りだけではなく、事実の確認も確実に行うこと。
  - 【回答】了解した。